

一般質問



下久保
議員

一、松浦市中総体の実施状況について
二、市職員の意識改革と防災対策に向けた取り組みについて

質問

一、(1)松浦市中総体の球技競技と武道競技の開催時期は早すぎると考える。県大会出場申込み締め切りを遅らせることができるように、県の体育連盟等へ働きかけはできないのか。子ども達は中学に入り、自分が選んだ競技を長く続けたいはずだ。

(2)陸上大会の開催日は、保護者等多くの市民が応援に行けるよう土・日曜日の開催が望ましいのではないか。

(3)市民への周知の方法も含め来年度に向け協議検討し開催して欲しい。

二、(1)昼食時に節電対策として、消灯した中で食事をしている職員を見たとき、暗く異様に感じる。昼休みは、午後から精力的に仕事をするための活力源である。せめて食事時間だけでも電気を点けてはどうか。

(2)災害時対応強化を図るための取り組みとして、55歳で定年を迎えられる退職自衛官を臨時職員として採用し、その技術や知識を活かしてはどうか。

(3)自衛隊で実施されている2泊3日の宿泊体験入隊を職員の研修等に取り入れてはどうか。

答弁

一、(1)申し込み時期の関係で、球技武道は5月の第4週の日曜日に、陸上はその3週間後の週にしなければ、運営上、あるいは学校の行事の兼ね合いもあつて難しい状況です。また、長崎県は、離島を抱えており大会申し込み後に宿泊の準備などに時間を要することも原因となっています。

(2)土日の勤務条件の問題や選手の輸送関係、審判員の日程調整も必要となります。一度、中体連に相談をし、協議したいと思います。

(3)検討の余地や方法を考え、対策をとってまいります。

二、(1)昼食の時間だけの節電ということではなく、全体的な庁舎の節電に対する意識高揚を図る面から取り組んでいます。

(2)自衛隊OBの雇用による防災体制の強化については、将来的な課題として検討させて頂きます。

(3)訓練、集団生活などを通じての規律、社会性、協調性を学ぶにはいい機会だと思えます。今後の職員研修のあり方等を検討する中で研究します。

一般質問



白石
議員

一、運動部活動の活性化と指導者の育成について
二、水産振興について

質問

一、(1)国民体育大会での市の開催基
本方針は、先月行われた都道府県対抗なぎなた競技リハーサル大会にどう活かされたのか。本番の国体に効果が期待されるものとなったのか。

(2)国体開催までの経費は、概算で幾らかかるのか。

(3)国体の開催目的は、地方スポーツの振興、競技力の向上、市民の健康増進にあります。市としてこれまでどんな取り組みをしてきたか。

(4)小中学校の運動部活動の活性化と指導者の育成において、顧問や教職員が部活種目の専門指導者であることはまれです。どのように考えるか。

(5)地域に潜在する指導者を積極的に活用してはいかがですか。

二、(1)稚魚稚貝の放流が水産振興にとつて欠かせない理由を伺います。

(2)何を放流し、その実績と効果はどうなっていますか。

(3)アラカブの放流について市長の考えを伺います。アラカブの仔魚育成を市で行ってはどうかと提案をいたします。

答弁

一、(1)リハーサル大会では、特に市民とともに開催する大会、おもてなしの大会としての取り組みができました。来年の国体の成功につながるものと思います。

(2)約4千500万円の見込みです。

(3)市報等の広報活動やジュニア教室、体験教室などを通して、なぎなた競技者の確保に努めています。

(4)学校だけで対応できないものは、地域で協力頂ける方のお力をお借りしております。

(5)安全で安心できる指導者対策を講じてまいります。

二、(1)水産資源増加の直接的な手段として、漁業者の期待も大きく、資源の早急な回復に資する重要な施策として実施しています。

(2)マダイ、トラフグなど魚類6種と、アワビ、ハマグリ、アサリの貝類、他にクルマエビ、ナマコなどを放流しています。技術的なことなどから効果は検証できていませんが、水揚げ量、金額ではともに増加が確認できています。

(3)漁業関係者と協議をして、放流場所を増やすことを検討したい。